

課題番号(e-Rad 課題 ID): 21455165

公募研究課題名:「新たな人獣共通感染症の発生に備えた事前リスク評価」

1 研究実施期間:令和3年度～令和7年度(5年間)

2 予算規模:37,000千円(令和3年度)

3 代表機関・研究総括者

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
動物衛生研究部門 人獣共通感染症研究領域長 真瀬 昌司

4 研究開発の目的・達成目標

新たな人獣共通感染症の発生に備えるため、家畜における浸潤状況やヒトへの感染リスクが不明な病原体に対して、そのリスクの事前評価やリスク低減策の構築を目的とした研究を実施する。

5 研究開発の内容および実施体制

① 豚インフルエンザに効果的な新規ワクチンプログラムの確立

豚インフルエンザウイルスの飼養者への感染リスクや豚での存続様式を明らかにし、農場内で豚での流行を低減するために有効なワクチンプログラムを提案する。

(農研機構動物衛生研究部門、日本養豚開業獣医師協会)

② D型インフルエンザウイルスのヒトへの潜在的感染性の評価

国内におけるD型インフルエンザウイルスの牛での浸潤度及びヒトへの感染潜在性を評価し、新たな人獣共通感染症としてのリスクを明らかにする。

(東京大学大学院農学生命科学研究科)

③ コロナウイルスの制御法確立に向けた研究開発

家畜コロナウイルスの家畜や野生動物等における浸潤度や野生動物からの農場への侵入可能性の実態を把握する。また、家畜での浸潤度の高いコロナウイルス1種類以上を対象に宿主特異性や病原性を明らかにし、ヒト感染リスクを明らかにする。

(農研機構動物衛生研究部門、群馬大学大学院医学研究科)

④ *Escherichia albertii*の家畜における浸潤状況調査およびリスク評価

大腸菌の類似菌種である*Escherichia albertii*の家畜における浸潤状況を明らかにするとともに、ヒトへの伝播性や家畜に対する疾病リスクを明らかにする。

(農研機構動物衛生研究部門、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)

6 研究開発された成果の取扱い

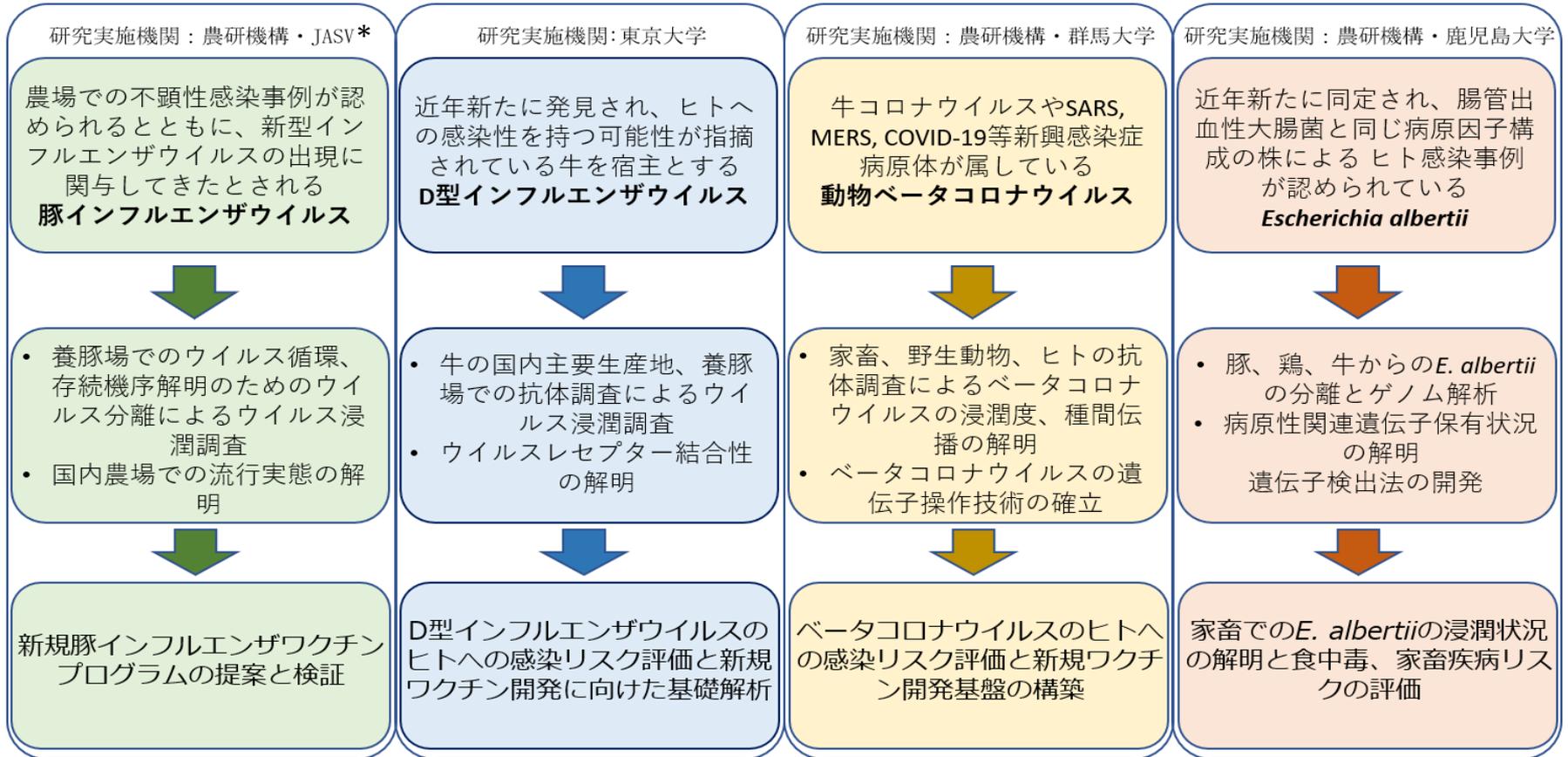
当該事業において開発された成果については学術論文等を通じて積極的に公表するとともに、本事業に関係する研究機関、省庁、地方自治体、大学及び団体等(公衆衛生分野を含む)と連携することにより、新興人獣共通感染症のリスク評価とリスク低減策の構築に活用する。

【連絡先:農研機構 動物衛生研究部門 人獣共通感染症研究領域長 029-838-7738(直通)】

< 研究概要図 >

新たな人獣共通感染症の発生に備えた事前リスク評価

研究代表機関：農研機構



研究成果の迅速な公表と関係部局との共有によって、新興人獣共通感染症のリスク評価とリスク低減策の構築に貢献する

*JASV：日本養豚開業獣医師協会